

平成26年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社 ウィザス

上場取引所 東

 コード番号 9696 URL <http://www.with-us.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 生駒 富男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 井尻 芳晃

TEL 06-6264-4202

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,377	8.7	81		94		339	
25年3月期第3四半期	11,371	1.5	139	55.5	110	64.4	5	

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 359百万円 (%) 25年3月期第3四半期 61百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	33.75	
25年3月期第3四半期	0.58	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	13,276	3,840	27.2	381.89
25年3月期	13,495	4,329	30.4	407.86

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,609百万円 25年3月期 4,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		7.50		8.00	15.50
26年3月期		5.50			
26年3月期(予想)				8.00	13.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,408	7.8	204	26.6	211	12.4	157		15.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	10,440,000 株	25年3月期	10,440,000 株
期末自己株式数	26年3月期3Q	384,058 株	25年3月期	384,058 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	1,055,942 株	25年3月期3Q	10,055,957 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、本資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2．四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の金融政策の効果もあり、円安や株価上昇、企業収益の改善など、日本経済全体として景気回復の兆しが現れてきましたが、一方で円安進行による原材料価格の上昇や消費税増税による消費マインド減退の可能性など、今後もその影響を注視していく必要があります。

当業界におきましては、顧客の選別志向は更に高まり、生徒獲得に向けたサービス競争が強まるとともに、業界再編や新分野進出等の動きがより一層顕著になっております。

このような中、当社グループでは競争力強化のため顧客満足度向上に全力を尽くすとともに、既存講座の見直しと新規講座の開発、社会人の資格取得を中心とした対象年齢層の拡大、ICT教育の推進等を実施してまいりました。また、コスト削減に注力し、人員配置の見直しによる人件費の削減、生徒数の変動や時間割の見直しに伴う適正校舎面積への移行による賃料削減、新聞媒体による広告から主要ポータルへの広告展開や教育イベントによる集客への移行等、広告宣伝費節減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高は103億77百万円(前年同期比8.7%減)となりました。経費につきましては予算統制により経費削減に注力し、売上原価が81億99百万円、販売費及び一般管理費が22億60百万円、経費合計104億59百万円(同6.9%減)と一定の効果を上げました。しかしながら、減収幅を補いきれず、営業損失は81百万円(前年同期は営業利益1億39百万円)、経常損失は94百万円(前年同期は経常利益1億10百万円)、四半期純損失は3億39百万円(前年同期は四半期純利益5百万円)となりました。

なお、当社グループの収益構造は、新年度開始となる4月の生徒数が通期で最も少なく、その後増加していくことや夏・冬・春の季節講習会時に売上高が通常月以上に増加することから、第4四半期に最も収益力が高くなるという傾向があり、季節的な変動要因があります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

学習塾事業

学習塾事業につきましては、顧客満足度向上に注力し、生徒のモチベーションのアップにより学力の向上と人間力の成長を図る教育手法として独自の意欲喚起教育EMS(the Educational Method of Self-motivation)の展開と成績向上に柱をおいた指導をしてまいりました。また、新規7校・増床1校の設備増強を図るとともに、ICTを活用した教育サービスの推進を行ってまいりました。

集団指導コースは厳しい局面が継続しており、当第3四半期末生徒数は21,795名(前年同期比4.8%減)となりましたが、個別指導コースの生徒数が増加し、全体の生徒数としては対前年比で4月末時点の92.3%から12月末時点の95.2%と回復の兆しが出ております。また、当社では成績向上と顧客満足度の向上に注力しており、12月には教育情報サイト「リセマム」の実施する顧客満足度調査で決定する「イード・アワード2013塾」において総合満足度関西第1位(最優秀賞)を受賞しました。これらの結果、売上高は62億28百万円(同6.5%減)となりました。

高校・キャリア支援事業

高校・キャリア支援事業につきましては、顧客ニーズの変遷に伴い、商品ラインを再構築しており、従来の高認・サポート校中心のサービス提供から通信制高校を主体としたサービス展開へ期首より本格的に転換してまいりました。そのことにより、高校の生徒数は対前年比で100.3%(12月末時点)と増加傾向にあります。しかしながら、キャリア支援におけるこれまでの高卒認定通学コースの廃止に伴い、当第3四半期末生徒数は7,158名(前年同期比10.5%減)となり、売上高は30億41百万円(同13.4%減)となりました。

なお、経営効率向上のため、高校とキャリア支援の授業時間帯を従来の同時間帯並行運営から土日・夜間を活用した2回転シフトに変更し、適切な校舎面積と要員数へ転換するため、移転3校・減床4校・統合1校を順次進めております。

その他

その他につきましては主に、能力開発事業、企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業及びデジタル教育サービス事業、広告事業等に係る業績を計上しており、売上高は11億6百万円(前年同期比7.3%減)となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10.1%増加し、42億77百万円となりました。これは主に、授業料等未収入金が3億3百万円、その他に含まれる繰延税金資産が97百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.4%減少し、89億98百万円となりました。これは主に、有形固定資産が1億98百万円、無形固定資産が1億43百万円、敷金及び保証金が1億27百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.6%減少し、132億76百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.4%増加し、61億27百万円となりました。これは主に、短期借入金が11億85百万円増加し、前受金が5億90百万円、支払手形及び買掛金が1億60百万円、賞与引当金が1億29百万円、未払法人税等が1億7百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.2%増加し、33億7百万円となりました。これは主に、社債が1億57百万円、退職給付引当金が61百万円増加し、長期借入金が76百万円、資産除去債務が32百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.9%増加し、94億35百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて11.3%減少し、38億40百万円となりました。これは主に、利益剰余金が4億81百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想の詳細につきましては、平成26年2月10日に公表いたしました「平成26年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,640,375	2,609,926
受取手形及び売掛金	149,838	154,956
授業料等未収入金	446,960	750,179
教材	86,101	64,532
商品及び製品	23,163	36,299
原材料及び貯蔵品	22,765	13,642
その他	572,979	715,999
貸倒引当金	57,131	68,111
流動資産合計	3,885,054	4,277,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,365,014	3,266,766
その他(純額)	1,357,622	1,257,414
有形固定資産合計	4,722,636	4,524,180
無形固定資産		
のれん	12,674	10,297
その他	514,809	373,704
無形固定資産合計	527,483	384,002
投資その他の資産		
投資有価証券	1,367,537	1,296,823
敷金及び保証金	1,476,739	1,349,032
その他	1,710,854	1,464,922
貸倒引当金	194,441	20,247
投資その他の資産合計	4,360,690	4,090,529
固定資産合計	9,610,810	8,998,712
資産合計	13,495,864	13,276,138

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	353,352	192,656
短期借入金	1,709,684	2,895,250
1年内償還予定の社債	208,000	238,000
1年内返済予定の長期借入金	399,013	331,780
未払法人税等	142,990	35,070
前受金	1,869,819	1,279,555
賞与引当金	191,511	61,576
その他	1,053,675	1,094,052
流動負債合計	5,928,045	6,127,941
固定負債		
社債	231,000	388,000
長期借入金	852,042	775,395
退職給付引当金	1,020,483	1,082,290
役員退職慰労引当金	385,131	398,115
資産除去債務	542,305	509,558
その他	206,858	154,606
固定負債合計	3,237,822	3,307,966
負債合計	9,165,868	9,435,907
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,299,375	1,299,375
資本剰余金	1,517,213	1,517,213
利益剰余金	1,880,393	1,398,825
自己株式	145,779	145,779
株主資本合計	4,551,202	4,069,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	199,746	189,439
土地再評価差額金	649,568	649,568
その他の包括利益累計額合計	449,821	460,128
少数株主持分	228,614	230,723
純資産合計	4,329,996	3,840,230
負債純資産合計	13,495,864	13,276,138

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	11,371,213	10,377,541
売上原価	8,989,091	8,199,267
売上総利益	2,382,121	2,178,273
販売費及び一般管理費	2,242,873	2,260,086
営業利益又は営業損失（ ）	139,248	81,812
営業外収益		
受取利息	5,141	4,602
受取配当金	19,619	14,321
持分法による投資利益	22,984	-
イベント協力金収入	7,384	7,251
その他	17,619	15,608
営業外収益合計	72,749	41,784
営業外費用		
支払利息	30,536	32,776
貸倒引当金繰入額	38,443	5,354
開業費償却	22,812	-
社債発行費	-	6,282
持分法による投資損失	-	2,742
その他	9,397	6,978
営業外費用合計	101,190	54,134
経常利益又は経常損失（ ）	110,807	94,163
特別利益		
投資有価証券売却益	287,973	-
関係会社株式売却益	-	2,304
保険解約返戻金	34,609	-
持分変動利益	-	9,199
その他	7,302	-
特別利益合計	329,885	11,504
特別損失		
減損損失	95,916	203,355
固定資産除却損	6,385	8,673
投資有価証券評価損	-	23,643
関係会社出資金評価損	20,663	-
その他	19,367	3,234
特別損失合計	142,333	238,907
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（ ）	298,359	321,566
法人税、住民税及び事業税	186,235	120,364
法人税等調整額	88,038	93,211
法人税等合計	274,273	27,152
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（ ）	24,085	348,719
少数株主利益又は少数株主損失（ ）	18,273	9,321
四半期純利益又は四半期純損失（ ）	5,811	339,397

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失（ ）	24,085	348,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,506	10,307
その他の包括利益合計	85,506	10,307
四半期包括利益	61,421	359,026
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,695	349,704
少数株主に係る四半期包括利益	18,273	9,321

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	学習塾事業	高校・キャリア支援事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,663,959	3,513,496	10,177,455	1,193,758	11,371,213	-	11,371,213
セグメント間の内部 売上高又は振替高	479	-	479	707,001	707,481	707,481	-
計	6,664,439	3,513,496	10,177,935	1,900,760	12,078,695	707,481	11,371,213
セグメント利益又は 損失（ ）	939,667	190,401	1,130,069	13,628	1,116,440	977,191	139,248

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、能力開発事業及び企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失（ ）の調整額 977,191千円には、セグメント間取引消去3,678千円、のれん償却額 39,747千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 941,122千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失（ ）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失及びのれんの金額の重要な変動）

「学習塾事業」セグメントにおいて、店舗移転の決定に伴い、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては579千円であります。

「高校・キャリア支援事業」セグメントにおいて、店舗移転の決定に伴い、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては3,905千円であります。

「その他」事業セグメントにおいて、収益性の低下に伴い、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては91,431千円であります。

当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	学習塾事業	高校・キャリア支援事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,228,950	3,041,786	9,270,736	1,106,804	10,377,541	-	10,377,541
セグメント間の内部 売上高又は振替高	193	-	193	730,400	730,594	730,594	-
計	6,229,143	3,041,786	9,270,930	1,837,204	11,108,135	730,594	10,377,541
セグメント利益又は 損失()	879,351	27,300	852,050	59,668	792,381	874,194	81,812

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、能力開発事業、企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業、デジタル教育サービス事業及び広告事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失()の調整額 874,194千円には、セグメント間取引消去1,779千円、のれん償却額 2,376千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 873,597千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「学習塾事業」セグメントにおいて、店舗閉鎖の決定及び収益性の低下に伴い、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては50,731千円であります。

「高校・キャリア支援事業」セグメントにおいて、店舗移転及び閉鎖の決定並びに収益性の低下に伴い、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては12,908千円であります。

「その他」事業セグメントにおいて、収益性の低下に伴い、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては139,716千円であります。